

平成 28 年度第 4 回 沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

日時：平成 28 年 11 月 10 日（木）19：10～22：10

場所：琉大病院がんセンター

参加者 11 名：笹良剛史、新屋洋平、足立源樹、垣花真紀子（Skype）、友利健彦、野里栄治、川田聡、笠原大吾、親泊美香、伊波華（多和田代理）、増田昌人

欠席者 9 名：喜納美津男、栗山登至、尾崎信弘、大湾勤子、島袋恭子、伊藤昌徳、崎枝久美、福地泉、中村清哉

陪席者 1 名：山口元子

< 報告事項 >

1. 平成 28 年度第 3 回緩和ケア部会議事要旨について

資料 1 に基づき、笹良部会長より平成 28 年度第 3 回緩和ケア部会議事要旨の報告があった。

2. 緩和ケア研修会修了報告について

資料 2 に基づき、笹良部会長よりハートライフ病院、那覇市立病院、浦添総合病院、豊見城中央病院主催緩和ケア研修会修了報告があった。

3. 琉大 ACP の取り組みについて

増田委員より琉大病院は年内にアドバンスケアプランニングを行う予定だったがまだ実施できていないとの報告があった。笹良部会長より九州がんセンターの先行事例について情報提供があった。

4. その他

増田委員よりせん妄対策研修会の開催予定があること、在宅療養ガイドの研修会を石垣と宮古で開催したいとの提案があるとの報告があった。また、増田委員より「第 4 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会緩和ケア部会事前アンケート」について周知があり、「都道府県内の緩和ケアの質の向上」についてどこまで部会でやるかを次回の部会で話し合いたいとのことだった。

< 協議事項 >

1. 痛みのスクリーニングと結果のフィードバック及び主治医（チーム）の行動変容について

資料 3 に基づき、伊波氏より琉大病院の状況について報告があった。緩和ケアセンター専従看護師で痛み・身体・心理的苦痛がある患者リストを作成し、各部署に配布することについて看護師長会にて承認されたが、データ抽出に手間が掛かるので運用が課題である。また、配布した用紙は、各診療科の医師に病棟師長又はリーダー看護師から手渡しし対応してもらうことを検討しているが、痛みの原因などアセスメントもしないまま医師へ返すことやリストを渡されることで医師が不快にならないか懸念がある。取り組み強化事項として、①病棟カンファレンスに薬剤師も参加してもらうこと、②カンファレンス時に緩和ケアセンター看護師が痛みで困っている人のリストを提示し対応を促すこと、③痛みが強い患者に対し緩和ケアセンター看護師がラウンドし痛みを再評価すること、④緩和ケアリンクナースの活動支援をすることがあり、外来については検討中とのことだった。

笹良部会長より南部病院及び豊見城中央病院の状況について報告があった。外来に的場システムを導

入した。フィードバックはできていない。行動変容を起こすために医師が紙にチェックしてサインするようになりたい。11月23日に的場先生と山下看護師が来沖する予定で、詳細が決まったらお知らせするとのことだった。

当日資料に基づき、足立委員より那覇市立病院の状況について報告があった。毎日8割～9割は実施できているが、慣れているスタッフとそうではないスタッフで差がある。今後は気持ちのつらさの項目も増やしたい。スクリーニングの内容を医師とは共有できていないことと、スクリーニングを外科ではできないが外科以外の診療科はできていないことが今後の課題とのことだった。

資料4に基づき、新屋副部長より県立中部病院の状況について報告があった。がん患者は1日1回、入院患者はなるべく11時までに外来はその都度スクリーニングを行っている。フィードバックは病棟と外来に任せているので把握できていないとのことだった。

笹良部会長よりがんセンターボードでスクリーニングの周知を行うというアイデアがあった。

垣花委員より、県立宮古病院の状況について報告があった。準備段階とのことだった。

川田委員より、県立南部医療センター・こども医療センターの状況について報告があった。実施できていないため、拠点病院のノウハウを参考にしたいとのことだった。

2. 緩和ケア研修会修了者名簿の公開について

資料5に基づき増田委員より緩和ケア研修会修了者名簿をがんじゅうネットで公開することについて、これまで修了者名簿をがんじゅうネットで公開してきたがそれは国や県がすべきことで、がん診療連携協議会がすべきではないのではとの意見があった旨説明があった。部会委員からは、①県が公開する②県から委託を受けてがん診療連携協議会が公開する③緩和ケア研修会の申込用紙の「研修会終了後、国及び沖縄県が貴殿の氏名及び所属を公開することについて御承諾いただけますか」という項目を、国及び沖縄県及び沖縄県がん診療連携協議会へ変更してもらうよう主催者へ協力をお願いするという3案が出された。

3. 平成28年度の現況調査（緩和ケア領域）の問題点について

資料6に基づき増田委員より平成28年度の現況調査（緩和ケア領域）の問題点について情報提供があった。各病院の現状について情報共有が行われた。

4. 緩和ケア研修会の受講状況について

資料7に基づき、拠点病院の緩和ケア研修会の受講状況について情報共有が行われた。那覇市立病院と県立中部病院は目標達成の見通しとのことだった。

5. 緩和ケア研修会修了について（平成29年6月までに）

資料8に基づき、増田委員より緩和ケア研修会を①2年目から5年目の医師は29年6月までに全員修了しなければならないこと②2年目には、29年4月時点で2年目に入る医師も含まれることを県が厚労省に問い合わせ確認したこと③上記事情により、29年4月から6月までの間に緩和ケア研修会を行わなければならない旨説明があった。那覇市立病院は4月、県立中部病院は5月、琉大病院は6月に緩和ケア研修会を開催することを検討することになった。

6. 緩和ケアフォローアップ研修会プログラム案について

資料 9 に基づき、新屋副部長より 3 月 4 日（土）に県立中部病院で開催すること、プログラムについては次回の部会で検討したい旨発言があった。

7. 沖縄県単位型緩和ケア研修会実施要綱の改定について

資料 10 に基づき、笹良部長より前回決議した沖縄県単位型緩和ケア研修会実施要綱の改定について沖縄県へ要望したことが報告された。

8. 次回部会開催日程について（1 月）

次回部会開催は 1 月 19 日（木）か 26 日（木）とし、日程調整はメールで行う事になった。

6. その他

笹良部長より、日本緩和医療学会のセミナー（1 月 21 日（日）福岡にて開催）について周知があった。また、県立宮古病院主催緩和ケア研修会の準備状況について情報共有が行われた。

野里委員より北部地区医師会病院が地域支援病院に指定される見通しである旨報告があった。

友利委員より、県内統一でホスピス病棟への紹介フォーマットを作ったが書きにくいとの意見が病院から出ている。見直しが必要ではとの意見があった。笹良部長より緩和ケア交流会での改定の提案を検討するとの返答があった。